

KSKR

2022.1

Vol.54



つながり通信

編集人:社会福祉法人つながり

大阪府高槻市富田町4-7-16

TEL:072-697-7080

本年もよろしくお願ひします！！



社会福祉法人つながり・つながり後援会

- | | |
|--------|--|
| 1P | 表紙・目次 |
| 2P | 理事長挨拶 |
| 3P～6P | 社会福祉法人つながり 事業所活動紹介
【サニースポット・ワークスポット・コラム・ふらっと・ライラック・かるがも】 |
| 7P～10P | 家族会ひだまり リレーインタビュー Vol.5
『親亡きあとに向けて』(植前秋恵さん、三好和子さん、千守町子さん) |
| 11P | 家族会ひだまり 懇談会&バザー報告 |
| 12P | 裏表紙 |

つながり通信について…

地域に開かれた事業所を目指し、法人内の各事業所の取組みや活動内容等、情報開示を行い、より多くの方々に当法人の方針や活動内容を知っていただく事を目的としています。



本年もよろしくお願い申し上げます。

令和四年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も前年に引き続き、新型コロナウイルスの感染対策や対応に追われ、あわただしく一年が過ぎていきました。いまだコロナ終息のめどが立たない中ではありますが、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様にお力添えをいただき、こうして新年を迎えられることを深く感謝申し上げます。

さて、今年の十一月十四日で当法人は設立二十年となります。二十年の間に社会情勢や福祉を取り巻く環境にも大きな変化があり、その変化に対応すべく、当法人も柔軟に対応してまいりました。ただ、そのような変化の中でも『ご利用者様への寄り添う支援』は変わることなく大切にしながら今日までやってきました。今後も法人職員一同、質の高いサービスを提供できるよう精進してまいります。また、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様と共に歩んでいけるような法人であり続けていきます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝とご多幸、コロナの状況が落ち着くことを心より願い、新年のご挨拶に代えさせていただきます。

令和四年元旦

社会福祉法人つながり 理事長 川崎昭博

社会福祉法人つながり 職員一同



各事業所活動紹介

いつもありがとうございます！！
サニースポット一同感謝しております！！



坂本邦夫さん

新年あけましておめでとーございます。

今年も1年どうぞよろしくお願いいたします。今回のつながり通信では、ボランティアとして長年サニースポットの活動を支えていただいている坂本邦夫さんをご紹介します。坂本さんは現在、週1回(月曜日)平成28年10月よりボランティアとして、主にものつくりの活動に約5年以上ご協力いただいております。

サニースポット

(生活介護) 管理者 小西信之

坂本さんがボランティアを始めるキッカケは、『社会とつながっていたい』という想いと『若い世代の方と関わることで元気が出る』と考えておられたことです。

サニースポットの活動や利用者さんと接することが安らぎとなり、ボランティア活動の背中を押してくれるエネルギーになっているようです。また、『利用者さんや職員さんの頑張っている姿を見られるのが一番の楽しみとなり、週1回のボランティア活動の際に毎回新たな発見があり学ばせてもらっている。』と話され、こちらまで心温まるお話を聞かせて頂けましたし、インタビューを行った私の方が逆に坂本さんから元気をいただきました。

今回のインタビューを通して、サニースポットの活動は家族会の皆様や職員をはじめ、いろいろな方に支えていただきながら成り立っていることを再確認できました。また、今後もいろいろな方が利用できる施設となるように努めていきたいと思いました。



職場の様子



ワークスポット

(就労移行支援、自立訓練【生活】)

就労継続支援B型、就労定着)

管理者 仲津秀行

昨年4月に管理者として着任して以来、利用者様の自立・就職に向けての努力や成果を数多く目にする事ができました。就職者数は令和3年4月から12月までの期間で7名になりますが、それ以前から就職されている方々も含め、お一人お一人が任された持ち場でその役割を果たしております。

ワークスポットでの支援を行いながら学んだことは、決して就職がゴールではなくその先が大切だということです。当事業所でも行っている「就労定着支援」という福祉サービスがありますが、これは利用者様が雇用された企業で円滑に就労の継続を図るため、各問題に関する相談や指導・助言などを一定期間行う事業です。



コミュニケーションを取り入れた支援



就職という一つの目標達成の先には、働くことにより得られる経済的自立や人との出会い、やりがい、人間的成長など豊かな人生につながる要素が溢れ、それらを引き出して発展させることが大切なのだと思います。今後とも職員一丸となって支援してまいります。

コラム

(共同生活援助)

管理者

妹尾弘宣

コラムでは、今年度2名の入居者様を迎え入れました。新型コロナウイルス感染症防止もあり、今まで以上に清潔保持に努めているところですが、新しい入居者様にも落ち着ける環境を提供できるように取り組んでいます。

12月24日(金)に各ホームにてクリスマスメニューを提供しました。また、元旦のお正月には、クックデリにて“おせち”を注文して提供しました。クリスマスやお正月など、ご家族で過ごすことができない方に、少しでも楽しんでもらえるよう来年度も継続してまいります。



元旦に提供した“おせち”

グループホームへ入居したいとの声をお聞きますが、なかなか新規開設の目途が立っていません。この一年、既存のホームの在り方を精査し、いったい何が課題なのかを探ってきました。また、他法人のグループホーム担当者様に経営、運営についてお聞きし、改めてグループホームの利用について考える契機になりました。

今のホームだけではなく、入居を希望している方のために、課題を解決して新規グループホーム建設の計画を進められるよう取り組んでまいりますので、今年もどうぞご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

ふらっと

(放課後等デイサービス、
児童発達支援事業)

管理者

平谷知英



日々の活動プログラムに「創作活動」を取り入れています。今回の紹介はクリスマスが近づいていた時期で、部屋のインテリアとして使える「ボトル瓶のリメイクライト」制作に取り組みました。ボトル瓶自体手に触れる機会が少ない素材でしたが、「ラベルをはがすとききれいな瓶だね」「こんな模様がとってもきれい」と取りかかる前からワクワクした様子でした。マスキングテープや好みのカラーシールをボトル瓶の表面にデコレーションし、イルミネーションライトをボトル瓶内で点灯すると「めっちゃきれい!」「家の中で光っているとところを見てほしい!」と嬉しい反応が飛び交いました。

毎回アイデアを出し、試作からの工程や持つて帰って嬉しい創作物が完成するまでの流れをスタッフが考えています。子どもたちも使用する工具の貸し借りや素材の譲り合いを通して、完成させる楽しさを味わうたびに感じてほしいなと願っています。



職員紹介



1月からパート職員として勤務することになりました寺井です。

すぐに誰とでも打ち解けられる明るさが私の長所です！

サニースポット利用者さんのケースも多く、ガイドや通院介助等、今後もしっかり務めさせていただきます。

に、サービスの質の向上に努めてまいります。

本年もライラックをどうぞよろしく願います。

今後もサービス利用の自粛や短縮から、収益面での厳しい舵取りが続くと思われますが、利用者さんの安全と安心を第一に、サービスの質の向上に努めてまいります。

ラックでは、利用者さん宅への訪問や、1対1での直接支援の機会が多く、個人個人の感染予防意識の向上や、具体的な対策等、出来ることから取り組んでいます。

この間は、一人ひとりの生活から社会のルールに至るまで、新しいやり方や考え方を求められ、試行錯誤の毎日であつたと思います。令和4年の幕開けとともに感染拡大第6波が到来。利用者さんの不安やストレスに寄り添うことができるように、引き続き事業所として、適切な支援・対応が求められます。

コロナ禍の発生から早くも2年が経ちました。

ライラック

（居宅介護、移動支援、相談支援）
 濱本俊 管理者

かるがも

(子育て支援)

つどいの広場）

支援スタッフ
川本綾子

「コロ大禍が続く中での支援、安心して楽しく過ごしてもらえるにはどうしたら良いのかをいつも考えながら利用者さんを迎えています。「外出は気を遣う」「家でずっと子どもと2人きりで過ごすには限界」「大人と話したい」「子育てこれで合ってるの?」教えてほしいけれどすぐに聞ける人がいない…」など、不安の声をよく聞きます。寄り添いじっくり話を聞いたり、先輩ママさんにつなげてアドバイスをもらったり、少しでも不安が軽減するように支援させていただいています。

また、親子で楽しめるイベントもいくつか行いました。11月22日の「かるがもまつり」には、30分の入れ替え制で18組39人の参加、12月22日の「クリスマス会」には、2部制で13組28人の参加がありました。どちらにもスタッフが中心となり、簡単工作やアートの体験、手作りおもちゃ遊びなど。クリスマス会ではハンドルや寸劇や大型絵本など…。短い時間でしたが利用者さんもスタッフも笑顔いっぱい。2日間でした。サンタさんからのプレゼントは、かるがもの先輩ママボランティアさんが手作りで雪だるまの飾りを用意してくださいました。ボランティアさんには普段から助けたいだいており感謝しています。

コロナが落ち着かない状況ですが、まずはスタッフの心身を整えてしっかりと支援していけるよう取り組んでいきたいと思っています。



家族会グループホーム部会を中心に夜間支援型グループホーム開設にむけて取り組んでいた2015年から、連載インタビューが始まりました。



初回は「富田地域に重度重複の障がいをもつ子どもたちの行き場がない時代から、苦難の道を切りひらいてこられた」元家族会会長の山口富美恵さんに昭和37(1962)年生まれのTさんの話を伺いました。

翌年の2回目は、中園功子さんに、昭和42(1967)年生まれのSさん—国際障害者交流センター主催アートプロジェクト連続入賞—の絵画の可能性を引き出していった歩みもまじえ話を伺いました。



これまでの通信インタビュー記事より

2017年、5年越しの念願かない法人初の夜間支援型グループホーム「コラム富田」が5月に男性7名でスタート。18年にかけては、入居者保護者の座談会並びに、次期は女性のグループホーム建設をと、2カ所のグループホームの見学会見学会の記事を掲載しました。



1)年生まれのKさんの歩みを通して「障がいのある子どもたちの進路を切り拓いて」こられた話を伺いました。

3回目は、サニースポット建設の折「施設をつくる会」の代表として資金集めに奔走してこられた佐竹美和子さんに、昭和46(1971)年生まれのKさんの歩みを通して「障がいのある子どもたちの進路を切り拓いて」こられた話を伺いました。



家族会ひだまり リレーインタビューは、サニースポットの利用者さんのご家族に、子供さんの生い立ちや幼少期のエピソード、家族の思いなどを語っていただく連載インタビューです。

4回目は、昨年の通信に、昭和55(1980)年超未熟児で産まれたMさんが歌とピアノが大好きで、親子で第2回国際障がい者ピアノフェスティバルに参加するまでになった歩みを河野照子さんに伺いました。



つながり通信インタビュー 親亡きあとに向けて

親子の関わり—小さいころのこと 原因に思い当たること?

障がいがかかる—いつ頃? 出産後すぐ 検診 就学前 覚悟気持ちの整理は?

支援—教育機関 いつから? どんな? サニースポットに入るきっかけ

子どもの未来—親亡きあとをみすえて今思っていること



5回目の今回は昨年12月8日(水)、喫茶クローバーでランチをしながら、座談会形式で話を伺いました。

昭和37(1962)年生まれ59歳の植前Tさん。(Tさんは、母親の付き添いで一緒に来られていたので、ご本人にもお話を伺いました。)

「子宮発育不全で未熟児で産まれ、20歳まで生きられないと済生会病院で言われたけれど、母とケンカばかりする口達者な元氣な子どもでした。」



「出ていけ!」
いうから、ホンマに出て行くねん。コワイことあらへん!

「京都市立養護高等学校(現京都市立白河総合支援学校)へ、京都市電とバスに乗り継いでひとりで通っていました。あと1年で卒業の時に他県へ引越し、おせんべいを作る会社に就職しました。」



その後高槻に来て、25歳の時に脳腫瘍で北摂病院から兵庫県立病院へ入院しました。その後、手足が震えるようになりました。

富田の清蓮寺の裏にあった高槻手をつなぐ親の会第2作業所どれみに通っている時に、三好さん、田中さん、佐藤さん、根本さんらに誘われ、一緒にサニースポットに来るようになりました。本人曰く「お母さんが作るものたちがうものが食べられる。」と給食が魅力だったようです。

サニースポットへ行かない日は、近くに住む叔母(母親の妹)とコノミヤへ買い物に行ったり、私が頼む家の用事—そうじと食事以外—を手伝っています。本人は「あれやれ、これやれ!」といったべんに言われても、一度に二つもできへん。」と言いますが、洗濯やお米とぎ等、家においてもらわないと困ります。

兄が55歳で亡くなったが、嫁さんと孫、孫のムコさん、みな集まって8人で誕生会をしたり、サニースポットに行った日は、4時20分ごろ帰ってきたら一緒にコーヒーを飲んだり、「お母さんと寝てあげろ。」と言ってくれたり、本人がいけない生活は考えられなません。」

母親も80歳になり、まわりからは「親が子離れ」と言われるようです。



昭和45(1970)年生、現在51歳の三好Mさん。

「太っていて出産時お腹が大きかったため、早めに入院して破水をうながす人工陣痛で完全破水、出産の時、水は一滴もなかったと言われました。引っ張りだした時に障がいが出たのかもしれない。」

「てんかん発作が5歳から始まりました。今は良い薬があり発作(軽い)が少しになりましたが、以前は失禁したり大発作があり大変でした。」



3歳児検診の時、言葉がなく、運動面では普通に寝返りやお座りができて歩くのも普通でしたが、三輪車がこげず、3歳になっても言葉がなかったようです。

「(高槻市立)うの花養護幼稚園*へ行き、今まで自分の子だけと思っていたのが、同じ思いの人が大勢いて少しは気が楽になりました。」

*うの花養護幼稚園 II うの花療育園

現在、社会福祉法人 聖ヨハネ学園が高槻市より委託を受け運営している。

うの花幼稚園—庄所小学校



「(当時)小学校は出来た所で障がい児の受け入れがなく、西大冠小学校へ1年、2年から庄所小学へ。第1中学校の1年で養護学校(大阪府立高槻支援学校)へ 高校(高等学校)まで通学。」

手をつなぐ親の会の第2作業所が発足

「近くで大きな通所施設が出来るということ、後から入ってきた植前さん・佐藤さん・根本さん・田中さんの5人で準備段階から参加しました。今に至り、親も子も年長さんになりました。」



親亡き後をみすえて—

「やはり寂しいとは思いますが、まだ余力がある内に、グループホームが出来るなら入れてもらいたいです。最初は、土日に顔が見れると思いますし、近くで良い所が見つけれたらうれしく思います。」

「偏食で牛乳が飲めず給食もあまり食べられず、弱い子を見ると押しやりた時代がありました。が、こだわりはいっぱいありますが、たくさんの方々のおかげで落ち着いた今があります。感謝です!」

第6回

大阪市ふれあい水泳太



昭和59(1984)年生まれ、現在37歳の千守Mさん。

「18609で産まれました。小さいころは体は小さいけれど元気でした。何をしても早くできていました。でも、お茶づけをする時に、コップからお茶を移すのに手首がうまく使えないことがわかりました。」

「ピアノを3才、水泳も3才から習わせましたが、ピアノは音符の♪が上手にかけませんでした。水泳は2年間水遊びで終わりました。」

小さいころから手のふるえがあつて、5、6才から少しずつ動かすようになっていったようです。



「ピアノの先生に病院でみてもらったらと言われ、9歳になった夏休みにいきました。病院の先生から原因は遺伝と言われましたが、だれも思いあたる人がいませんでした。」

親も先生もわからないのに、ピアノの先生だけが、『目を開いても寝てる』とてんかん発作があるのではないかと言われました。」

難聴のことも、「幼稚園のころから後ろから呼んでも応えないので、おかしい思いながら、補聴器をつけるほどではないと思っていました。」

『脊髄小脳変性症』と診断を受けたときは、「最初はピンときませんでした。医学書を読んでみてびっくりしました。早死にすると書いていたからです。テレビで『1の涙』という番組があり、大変な病気なんだと思いました。小児科への通院は毎月、のちに3か月に1回になりました。進行が少しずつなので、こんなものかと思いましたが、今は少しずつ進行してきています。」

＊脊髄小脳変性症とは、はっきりとした原因がないままに、小脳とその周辺の神経細胞が変性し運動失調をきたす病気です。小脳が障害されると、歩行時にふらつきたり、細かい運動ができなかったり、お酒に酔ったようなしやべり方になったりします。このような症状を「運動失調」と呼びます。



幼稚園、小学校、中学校と普通に通いましたが、高等部は茨木支援学校へ通うことになりました。「最初は電車を通っていました。JR高槻からのスクールバスを利用しました。車いすは支援学校で上手に使うことができました。」

知的障がいもあり、1+1がわかるまで半年かかったのに、掛け算の九九はすぐ覚え、けれど数の大きい小さいわからないとの事です。

「高校卒業後、どこに行こうかと思つてましたが、学校からサニースポットが新しく出来るということを知り、いろいろ見学しましたが、これからできるというので決めました。」



ぬり絵が好きで、ふるえる手でも配色もよく、さをり織のセンスも良いようです。

一昨年12月に頭、手足が震える発作が起き、無意識に頭や手足が勝手にひどく動くので、トイレでいつ倒れるのかわからないためヘッドギアをかぶるようになりました。

子どもの未来―

「相談支援員さんをお願いして、入浴介助を週2回利用できるようになりました。今年1回利用しました。身体手帳も昨年夏2級になり、その関係で療育手帳もAになりました。障がい年金も1級になり、手続きが大変でした。これ以上悪くならないことを願っています。親亡き後はグループホームに入って生活できれば嬉しいです。」

お父さんは、さみしく心配なようだけど……

サニースポットでは落ち着いた様子で過ごしています。



取材・文責：つながり後援会 朝日(岡本)悦子

つながり後援会会員にご入会&ご寄附

ありがとうございます

心より感謝申しあげます。

井上任典 今井温子 海老ヶ瀬正三 大塚京子 大山美智子 小倉眞佐子 梶内さゆり
勝部忠雄 吉良摩美 川口真弓 神田愛子 近藤弘子 笹尾英子 佐竹真一
佐竹由紀子 白岩登志男 高松寿美 竹松龍馬 永江結子 中村君子 肥後亜矢子
藤波和子 宮浦ヨシ子 村上民雄 村上富貴子 森内桂子 森岡榮子 森崎栄子
山口毅 山本よしこ 吉岡宏明 吉田仁志 若林智恵子 匿名希望 2名

以上 35名

2021年7月～2022年1月13日現在 敬称略：あ～順



家族会ひだまり 懇談会&バザー報告

昨年度、今年度と予定されていた総会やいろいろな活動も感染拡大のために全部中止となりました。

秋になり感染拡大が減少に転じたためにやっと懇談会を開くことが出来ました。

出席された方からは生活環境の变化や悩みなどをお話いただき、岡本業務執行理事が法人を代表して、サニースポットの現状とこれからをお話いただきました。

出席者は左記の通り。

●11月24日(水)
午前10時～11時 8名
午前11時～12時 4名
●30日(火)
午後1時～2時 10名

サニースポット開所から来年で20年になります。

開所時から利用されている利用者さんも年を取り、親ごさんの高齢化も進み、現在、突然の病気やケガ、身体機能の低下など不安をお持ちの方がおられます。

今回いただきました意見を、これからの検討課題として、法人の方々と話し合っていきたいと思います。特に、グループホームの問題を早急に考えていきます。

—昨年12月、家族会ひだまり会長
宮浦ヨシ子さんの会員にあてた報告
より—



久しぶりに和気あいあいと、保護者20名近くが販売に協力！
バザー収益：45,980円

新型コロナウイルス感染拡大のために夏まつり、フェスタ出店が中止となり、利用者さんの楽しみの日帰り旅行などもなくなり、家族会として少しでも利用者さんへ何かさせていたたくことはないかと役員会でも話し合いました。

サニースポットの許可もいただき、高齢会食の日に合わせて12月9日(木)午前10時～午後3時までサニースポット玄関前にてバザーを開かせていただきました。

当日は青空と暖かい日ざしに恵まれ、急に決まったバザーでしたが、皆様からいただいた皆さんの品物を大勢のお客様に買っていただき、予想以上の売り上げとなりました。

今回は役員会が主催しましたが、保護者の有志の方々20名近くが販売にご協力くださり、大成功となりました。久しぶりに和気あいあいで楽しかったという下さる方も多くおられました。

当日はサニースポットの職員さんも心よくご協力いただき、本当にありがとうございました。

社会福祉法人つながり ご寄附報告

岡本敬子 矢倉里美 以上2名

2021年7月～2022年1月13日現在 敬称略:あ～順

ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



サニースポット利用者さん作
『寅』

～編集後記～

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
今年は色々トラ(寅)イしていきたいなと思っています！！

つながり通信編集担当：藤森

法人事業所一覧

サニースポット (生活介護)

〒569-0814 高槻市富田町4-7-16
(TEL)072-697-7080 (FAX)072-697-7086

しゃあぶ (日中一時支援)

〒569-0814 高槻市富田町4-7-16(サニースポット内)
(TEL)072-697-7105 (FAX)072-697-7108

ワークスポット

(就労移行支援、自立訓練【生活】、
就労定着支援、就労継続支援B型)
〒569-0814 高槻市富田町2-1-24
ハイツエレガンス1F
(TEL・FAX)072-696-4484

ふらっと (障がい児放課後等デイサービス事業、 児童発達支援事業)

〒569-0814 高槻市富田町2-11-22
(TEL)072-668-2781 (FAX)072-668-2785

コラム (共同生活援助)

(TEL)072-694-1775 (FAX)072-694-1776

地域生活相談所ライラック

(障がい児・者ホームヘルプ・ガイドヘルプ・
障がい児・者 相談支援/高齢者ホームヘルプ)
〒569-0822 高槻市津之江町2丁目24-12今井ビル2F
(TEL)072-676-5513 (FAX)072-676-5531

キッズスポットかるがも 子育て支援 つどいの広場

〒569-0822 高槻市津之江町2丁目24-12今井ビル1F
(TEL・FAX)072-661-2326

★ 法人ホームページ ★

★ <http://tsunagari.info/>

★ Facebook もチェック！

